



みどり

発行

公益社団法人
徳島県環境技術センター

徳島市津田海岸町2-33
電話 (088)636-1234(代)
FAX (088)636-1122

<https://www.tokushima-env.jp>

令和4年度 第7回理事会を開催

令和4年11月7日(月)午後2時から県環境技術センター会議室において理事8名、監事2名が出席し、第7回理事会を開催した。

開催にあたり、田村会長のあいさつの後、議長として議事を進行し、提出3議案の協議、承認と6件の報告が行われた。

1 協議事項

- 第1号議案 センター所属部会の開催結果について
- 第2号議案 業務効率ならびにその他課題解決に向けたDX化の提案について
- 第3号議案 BOD測定機器導入(2号機)にかかる見積書の提出について

第1号議案は、6月に県に提出した各部会の要望書に対して県の見解が示されたことにつき、今後の方針や対応について協議した。

～県の見解要旨～

○浄化槽法に基づく年1回の清掃実施の徹底について(清掃部会)

- ・正確な清掃状況の確認ができていない現状や経済的弱者への配慮が必要。正確な清掃状況を把握する手段が課題。
- ・標準契約対象者については、補助金を担っている市町村担当者と検査の指導を行う予定。

○徳島県浄化槽保守点検業者登録条例等の改正について(保守点検部会)

- ・条例に規定する点検機器類を使用し、適正な保守点検が行われているかを実態調査等により検証することが必要。
- ・不測の事態で管理士に欠員が生じた場合の特例を設けることについては、法で管理士が業務を行うと定められており、特例措置は認められない。

○浄化槽の適正施工を担保するための施策について(施工部会・メーカー部会)

- ・施工マニュアルの遵守を県要領に位置づけることについては、不適正工事の実態調査の報告等に基づき検証する。
- ・中間検査制度の創出については課題もあることから、工事の中間写真をセンターに提出することも含め検討する。
- ・浄化槽設置届出書等の電子申請については、導入に向けて検討中。

第2号議案は、宮内部長より、DX化による保守点検・清

掃情報の効率的な提供方法や、点検・清掃・施工の課題解決や検査業務の効率化に向けたシステム開発の説明があった。議長からも浄化槽業界の将来のためにセンターがDX化に向けて取り組むことを説明し、出席理事も賛同した。これを受けて、議長はDX化推進チームの編成を事務局に指示した。

第3号議案は、令和5年度12月の2号機の設置について、令和4年12月までにラボテック社に発注することが承認された。また、事務局から計量事業で使用する機器類の次年度以降の更新計画案と予算組みについて説明を行い、承認された。

【以下は報告事項】

(1)令和4年度上半期の事業報告及び決算報告について

- ▶10月25日(火)に上半期の報告を行った。
- ▶監査の結果、業務及び収支予算の執行状況は、適正であると長地監事から報告があった。

(2)事務局組織規定案の訂正について

事務局より、規定を改正することを報告した。

(3)センター事業の実施等について

- ①令和4年度浄化槽技術講習会の開催について

【令和4年度「浄化槽技術講習会」】

日程：令和5年2月2日(木) 13:00～17:00

場所：徳島グランヴィリオホテル

内容：①ハウステックKRS型の構造と維持管理について
②ニッコー水創り王の構造と維持管理について
③浄化槽情報提供
※浄化槽関連の機器展示を予定

②第2種電気工事士を試験対策講座の令和5年度開催にかかる受講希望アンケートの実施

③令和5年度浄化槽管理士講習会の開催にかかる受講希望アンケートの実施

(4)執行理事の業務執行状況の報告

(5)次回理事会 令和4年12月8日(木) 15時開催

(6)その他 ①11月のスケジュール報告

②令和4年度秋の叙勲受章

(有)松島清掃社 松島 清氏



浄化槽法指定検査機関 四国地区協議会 検査員研修会を開催

令和4年度浄化槽法指定検査機関四国地区協議会検査員研修会が9月15日(木)、16日(金)の両日、徳島グランヴィリオホテルで開催された。

研修会には四国4県の検査機関から49名のほか、九州地区協議会の6検査機関12名を加え、計61名の参加者が集った。

初日は、開催県である(公社)徳島県環境技術センター田村会長より開会の挨拶のあと、**講演1「南海トラフ地震に対する防災対策について」**、**講演2「浄化槽法定検査ガイドラインの解説」**の講演が行われた。

講演1では、徳島大学環境防災研究センターの湯浅恭史氏より、専門である「南海トラフ地震」で想定される被害と、災害発生時において迅速な事業再開・事業継続のためのBCP策定について事例を交えて説明があった。

講演2では、(公財)日本環境整備教育センター調査・研究グループ 濱中俊介氏より、検査時に判断が難しい事例や新機種の構造等に関する情報を細かなデータを交えて分かりやすい解説があった。また、最後の質疑応答では、検査員から多数質問が寄せられ、濱中氏からの説明があったほか、各県の判断方法などの情報交換が行われた。

2日目は、四国各県の研究発表会が開催された。各県から4つのテーマで研究発表が行われ、九州地区検

査機関による投票で選ばれる最優秀研究に、愛媛県の「殺虫剤が浄化槽放流水のBODに与える影響についての検証結果」が選出された。

なお、最優秀発表者は、11月に鹿児島県で行われる九州地区協議会検査員研修会において四国地区代表研究として発表される。

最後に当センターの空保事務局長の閉会の挨拶により、2日間の研修を締めくくった。

<各県の研究発表>

- 徳島県 ダイエー浄化槽FCE型水質改善調査報告
発表者 小泉允人氏・笹川誠史氏
- 香川県 大腸菌群数と浄化槽処理水BOD濃度の関係性について
発表者 小野坂哲氏・越智一行氏
- 愛媛県 殺虫剤が浄化槽放流水のBODに与える影響についての検証結果
発表者 鴨崎元樹氏・坂東 篤氏
- 高知県 新人検査員の事故・トラブル軽減の取組みについて
発表者 前田和希氏



令和4年度 上半期

業務・会計監査を開催

県環境技術センターは、10月25日(火)午前10時から、令和4年度上半期の会計及び業務監査を実施した。

監査には、監事の長地孝夫氏(公認会計士)、志摩恭臣氏(弁護士)が出席、執行部からは、田村会長、森副会長、井内副会長、空保専務理事、加統常任理事が出席、事務局として福山理事、川原部長、山下課長が出席した。

まず、川原部長から4年度上半期に行った事業報告を、空保専務理事から同じく4年度上半期の決算報告を行った。

その後、監事が関係の諸帳簿を監査し、令和4年度の事業報告書及び収支決算書類は承認された。



秋の叙勲 瑞光単光章を受章 松島 清さん

秋の叙勲において、松島清さん(㈲松島清掃社)が「瑞光単光章」を受章されました。

受章をお喜び申し上げます。

「浄化槽の日」 ポスターコンクール

入賞作品決定

徳島県と県教育委員会、県環境技術センターは将来の徳島の環境を担う小学生・中学生のこども達を対象に令和4年度「浄化槽の日」ポスターコンクールを実施した。今年度は、常連校に加え、環境学習を開催した小学校からも出展があり、小学生の部11校44作品、中学生の部7校16作品の力作が寄せられた。選考会は9月27日午後より、県環境技術センターで開催され、審査の結果、小学生の部は最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作10点、中学生の部は最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作5点の受賞作品が決定した。

受賞作品のうち、最優秀賞・優秀賞に輝いた8名の受賞者については、11月22日、徳島グランヴィリオホテルで表彰式が執り行われ、飯泉知事より表彰状が授与される予定となっている。



国府小学校 青木 勇麻 (4年) 三加茂中学校 和泉 拓海 (2年)

おめでとうございます!

小学生の部

最優秀賞	青木 勇麻	国府小学校4年
優秀賞	伊丹恵玲奈	箸蔵小学校6年
	笠原 尚	鴨島小学校3年
	和田 実結	新町小学校4年
佳作	大浦 杏月	高原小学校4年
	逢坂 太一	鴨島小学校2年
	小倉 大和	鴨島小学校1年
	尾崎 めい	川島小学校2年
	桐野 夏伊	鴨島小学校4年
	黒谷 明里	鴨島小学校5年
	齊藤 大起	山瀬小学校2年
	高濱 綾音	北島小学校4年
	坂東 芽生	鴨島小学校2年
	森本 紗英	鴨島小学校1年

中学生の部

最優秀賞	和泉 拓海	三加茂中学校2年
優秀賞	青木 蒼空	国府中学校1年
	金原紗和香	阿波中学校3年
	小谷 優維	上板中学校1年
佳作	金山 結乃	阿波中学校2年
	久保 順	三加茂中学校2年
	住友 萌生	上八万中学校2年
	西原 知優	貞光中学校3年
	増田ゆり子	鳴門教育大学附属中学校1年

上半期 機能保証登録申請件数は微減

令和4年度上半期は全浄連が行う機能保証制度の登録申請件数は554件であった。前期比で48件の減少となった。

浄化槽機能保証制度とは

この制度は、浄化槽の工業者が保証登録し、合併処理浄化槽に原因不明の機能異常が発生した場合に、全国浄化槽団体連合会の保証基金から、修繕費用を支払う。

保証期間は使用開始の日から10年間。(駆動部分及び散気管については使用開始の日から1年間)

上半期の保証申立2件を受理

県環境技術センターは、上半期2件の申請を受理した。申立内容について、審査委員会を開催し、検査員が現地確認を行い提出した調査報告書をもとに審議した結果、保証申立2件とも承認された。修補工事は県環境技術センターの指示で実施済である。

法定検査上半期

46,965基実施

県環境技術センターは、令和4年度上半期の検査実施数をまとめた。

7条検査1,174基、11条検査45,791基となった。判定結果は次のとおりであった。

判 定	7条検査	11条検査	合 計
適 正	737基	19,481基	20,218基
概ね適正	322基	20,533基	20,855基
不 適 正	115基	5,777基	5,892基
計	1,174基	45,791基	46,965基

センター会員の皆さま /

災害図上訓練のお知らせ

当センターでは、南海トラフ巨大地震など大規模災害に備えるため、「令和4年度徳島県災害図上訓練」に参加いたします。

つきましては、昨年度に整備しました「災害時の緊急連絡網」により訓練を実施しますので、関係会員の御協力をお願いいたします。

※具体的な訓練の内容がわかりましたら、訓練の対象となりますが、事前にのご案内させていただきます。

【センター訓練日程】

日時：令和5年1月17日(火)
内容：今後、訓練内容が県から示されます。

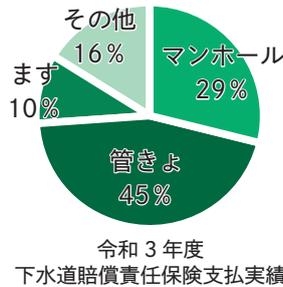
【訓練イメージ】



作業後の安全確保も忘れずに

12月2日、鳥取県で高齢女性が浄化槽に落下し軽傷を負う事故が発生した。昨年は、県内でも事故にはならなかったが、幼児が浄化槽に転落しかねない危険な現場があり、県から安全対策の注意喚起が出された。マンホールに起因する事故は、(公社)日本下水道協会によれば、令和3年度保険支払事故の29%にもなる。

設置者の安全及び会社の信頼を確保するために、マンホールロックの徹底・マンホールなどの突出による段差を解消する・老朽化したマンホールは交換する等、作業後の安全に配慮してください。



【会員情報】

9月30日現在

地区	会員数
徳島	58社
鳴門	9社
小松島	8社
阿南	17社
海部	7社
阿北	9社
美馬	11社
三好	23社
メーカー	12社
合計	154社

退会企業

阿北 施工部会 テライ設備機器(有) 寺井 孝治

事務局だより

年末年始の営業について

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
年末年始の営業に関しまして、下記の通りご案内します。

■分析業務依頼

- 年内の受付は下記日程まで
 - ・生活環境項目(7項目等) ▶▶▶ 最終受付日：令和4年12月23日(金)
 - ・COD T-P T-N ⇒ 令和4年12月26日(月)
 - ・飲料水(簡易項目) ⇒ 令和4年12月20日(火)
 - ・上記以外有害項目等 ⇒ 令和4年12月20日(火)

■浄化槽コンクリート底板

- 年末 引取：令和4年12月29日(木) 午前中まで
受付：令和4年12月28日(水) 午前中まで
- 年始 引取：令和5年1月6日(金)
受付：令和5年1月4日(水)

年始は、1月4日(水)から通常通り受付いたします。

法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。

○11条検査

【日程】
令和5年1月5日～2月2日
【地区】
徳島市、小松島市、勝浦町、上勝町、阿南市

○7条検査

【日程】
令和5年1月5日～2月2日
【地区】
徳島市、鳴門市、松茂町、小松島市、阿南市、阿波市、吉野川市、美馬市、つるぎ町

○那賀町検査(らくらくあんしん協議会)

【日程】：令和5年1月5日～2月2日
【地区】：那賀町全域

○神山町検査(神山町きれいな水づくり協議会)

【日程】：令和5年1月5日～2月2日
【地区】：神山町全域